

【技 術 資 料】

Technical Sheet

動物・人体への有害性が極めて低い、動物用消毒薬の中性不凍液

ビバフロスティ® F

Viva Frostir® F

 **北海道日油株式会社**

HOKKAIDO NOF CORPORATION

〒079-0167 北海道美唄市光珠内549番地

TEL(代表) (0126) 67-2211

FAX (0126) 62-1114

動物用消毒薬の中性不凍液

【ビバフロスティ® F】

原液で使用いただくことで-30℃まで対応します。

踏込み消毒槽に

車両消毒に

凍って危ない箇所の消毒に

◆特 徴

1. 不凍性

従来の動物用消毒薬は水で希釈溶解して畜舎や車両への散布、踏込み消毒槽で使用されていますが、寒冷地地方における凍結環境下（0℃以下）では消毒液は凍結してしまうため、使用が困難なことがありました。

本製品を水代わりに動物用消毒薬と混ぜてご使用いただく事で、消毒希釈液が凍らず、厳冬期の消毒がより確実にできます。

※-30℃以下の環境でもシャーベット状態になります。

2. 混合性

既にお使いいただいている動物用消毒薬（複合次亜塩素酸系、塩素系等）と混合してご使用いただけます。

※一部ご使用いただけない消毒薬もあります。

3. 取扱い性

ご使用いただいている踏込み消毒槽、動力噴霧器、車両消毒装置などに、そのままお使いいただけます。

4. 低毒性

ウィンドウウォッシャー液等に使用されているメタノールは使用しておらず、動物や人体への健康有害性が極めて低い「多価アルコール」を主成分としています。この多価アルコールは、身近な化粧品など様々な商品に使われているため、安全性の高いものです。また、引火性も無く、揮発性も低い商品です。

5. 環境に優しい

成分中に車両など金属部（アルミ等）の腐食やタイヤのゴムを劣化させる物質は含まれておらず、腐蝕性は水と同等です。環境中に放出された場合にも、植物への影響が低い製品です。また、本製品は中性であるため、土壤環境を変化させることもありません。

◆特 性

1. 主成分

水溶性多価アルコール

2. 性状

- a) 状 態……………無色無臭液体
- b) 比 重……………1.13 (液温20℃)
- c) 凝 固 点……………-30℃ (-30℃以下でも固い氷は形成しません)

3. 環境への影響

- a) 分 解 性…主成分は、通産省公報(昭和54年12月発行)“既存化学物質の微生物等による分解度及び魚介類の体内における濃縮度試験の結果について”において、“分解性が良好と判断される物質”に認定されています。

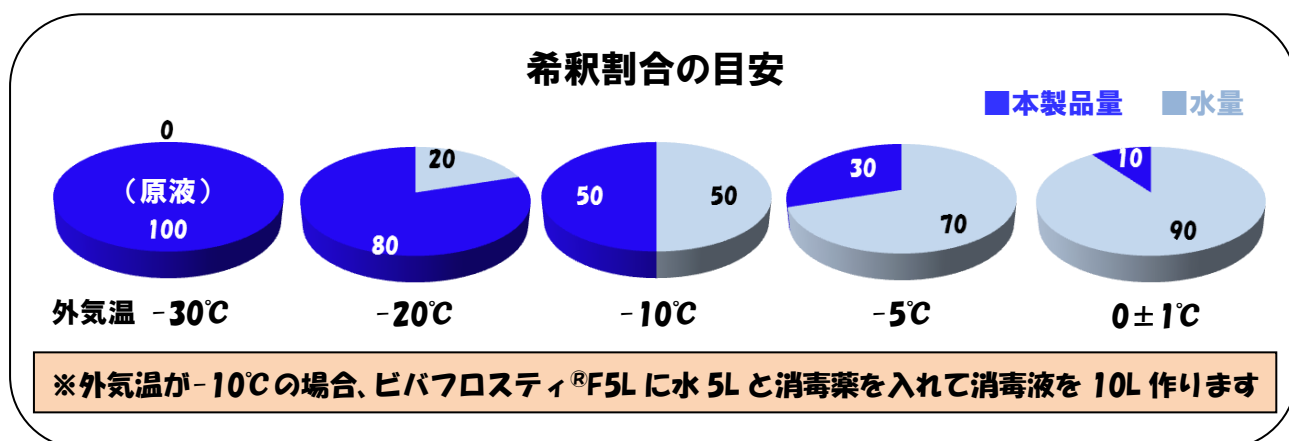
◆用 途

動物用消毒薬の不凍希釈液

- 牛舎、鶏舎、豚舎などの畜舎用消毒液の不凍液
- 踏み込み消毒槽用消毒液の不凍液
- 車両用消毒液の不凍液

◆用 法

- 凍結が予測される場合に、外気温に応じて以下の希釈割合目安を参考にビバフロスティ®Fを消毒薬に直接混合、または消毒薬の希釈液に混合してご使用下さい。



◆動物用消毒薬との相性

1. 適合可能消毒薬種と対象病原体

複合次亜塩素酸、塩素系等の消毒薬と混合してご使用下さい。消毒薬自体の消毒効果は気温の低い冬期に弱まる傾向がありますので、消毒薬濃度を高めてご使用いただく事を推奨します。

ビバフロスティ®Fと消毒薬混合時の効果（-20℃）

病原体種	混合する消毒薬種	
	複合次亜塩素酸 1%	塩素系 0.2%
サルモネラ	○	○
牛コロナウイルス (エンベロープ有り)	○	○
牛鼻炎アデノウイルス (エンベロープ無し)	○	△

○：消毒薬の効果が維持

△：消毒薬の効果が低下

2. 混合の注意事項

- 一部の消毒薬を混合した場合、変色作用が無くなります。通常夏季に運用されている交換タイミングで交換して下さい。
- 消毒薬が溶け難い場合があります。その場合は、先に消毒薬を少量の水に溶かした後に本製品を混合して下さい。溶解しない消毒薬は使用しないで下さい。
- 混合後の状態（色合いや溶解状態）が、水に溶かした場合と異なることがあります。また、分離等が発生する場合があります。

◆使用上の注意

- 本製品に消毒効果はありません。また、消毒薬の消毒効果を保証するものではありません。
- 不凍液以外の用途に使用しないで下さい
- 混合する消毒薬の取扱注意事項に従って下さい。
- 大量に散布した場合に、水よりも粘性が高いため滑りやすくなる事があります。
- 本製品は人体に対して有害ではありませんが、決して飲まないで下さい。万一、口や眼に入った場合は直ちに水で十分にすすぎ、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流して下さい。尚、必要に応じてメガネ・手袋等の保護具を使用して下さい。

- 子供の手の届かない所において下さい。
- 開封・使用後は密栓をし、早期に使い切ってください。
- 保管の際は直射日光を避け、高温物に近づけないで下さい。
- 使用前にSDS（安全データシート）を熟読して下さい。

◆荷 姿

- 18L ポリ容器
- 200L ドラム缶
- 1000L IBC容器